

3月15日 10時～12時30分頃 台中長青大学の60人位のかたがたと交流しました。地下一階のステージ付きで広いホールでした。黄シスターは両手を広げて何んでもウエルカムみたいな方です。私たちの交流に大切な時間と場所を提供してくださり大変うれしく思いました。15名もの二胡演奏団による歓迎は思いがけず、ありがとうございました。



<花見> 藤井 高

4月が近づいてくると心が浮き浮きとしてくるのは、私だけでしょうか。冬の寒くつらい頃から、だんだんと暖かくなってくる頃に、いろいろな花が咲きだし、山々は新緑に覆われ、春の訪れを感じます。しかし、最も春だなあと感じるのは、町のいたるところで咲き乱れる桜です。この頃になると桜の下では、昼は家族連れが、夜は会社員や友人仲間の花見でにぎわいます。

わが家(私と嫁)も次男の家族(次男とその嫁と3歳の孫)と一緒に、花見に出かけました。途中、天満橋駅近くの大川沿いの桜が満開で多くの人達が花見を楽しんでいたため、そこで花見をすることとなりました。久しぶりの孫との再会で、存分に楽しいひと時を持つことが出来ました。(写真はその時のものです—妻と孫と次男の嫁)



花見は、奈良時代の貴族の行事が起源で、その当時は梅の花だったようです。その後、平安時代になって、桜に変わっていったようです。桜は、バラ科の落葉樹で、街中で多いのはソメイヨシノです。日本中で、大部分がこの種類だそうです。ソメイヨシノは花だけが先に咲いて、花が散るとすぐ葉が咲きますが、その後のサクランボが咲くころになると、毛虫が繁殖し、その駆除が大

変で、庭木には不向きです。

今年は例年より早く咲き、あっという間に一斉に散ってしまいましたが、日本中で8割を占めるソメイヨシノはエドヒガンザクラとオオシマザクラの交配でできたものですが、ほとんど同じ遺伝子のようで、1本の木から接ぎ木で日本全国に散らばっていったようです。そのため、一斉に咲き一斉に散るようです。

日本では新聞やテレビで天気予報の一部として、各地の桜の開花情報を、3部咲き、5部咲き、満開等で表示し、自分の住む土地ではいつ桜が満開になるかに、日本中が関心を寄せています。

